

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
現代社会論		グローバル社会の諸問題		福山 圭介	1 年次後期	2
科目区分	基礎	キーワード	日米同盟、イスラム、移民問題、ナショナリズム、グローバリゼーション			
ディプロマポリシーとの対応		1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前を受講するとよい科目		政治経済				
講義の目的	沖縄の米軍基地、大国化する中国、変貌する日米同盟、混迷を深める中東情勢、欧州の移民問題など、今日のグローバルな社会にあって私たち一人一人にとっていつでも身近な問題となりうる事柄を、どのように理解すれば良いのか？ネットやテレビのニュースの聞きかじりに満足せず、より深く、社会科学として理解することを学びます。					
到達目標	ニュース時事能力検定準2級以上ないしそれ相当の知識を身につけ、さらには単なる知識に留まらない現代社会への永続的な興味・関心を各自が持てるような授業にします。					
講義内容	なぜ日本に米軍基地があるのか？中国は尖閣諸島に攻めてくるのか？イスラム国はなぜ生まれたのか？なぜ欧州でテロが頻発しているのか？トランプはなぜ支持されたのか？グローバリゼーションって結局何のことなのか？こうした疑問から出発します。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	オリエンテーション	授業概要や運営方法等の説明			
	第2講	在日米軍と日米同盟	在日米軍および日米同盟の概要			
	第3講	沖縄基地問題	沖縄経済と米軍基地、普天間基地移設問題など			
	第4講	米軍再編と日米交渉	日本の対米外交はどのように行われているのか？			
	第5講	米軍と人民解放軍	もし米中紛争が起こったらどうなる？			
	第6講	海洋をめぐる問題	国際海洋法条約と尖閣諸島・南沙諸島			
	第7講	イスラムとは何か	イスラム教の教義・社会習慣など			
	第8講	イスラム近現代史	中東の近代史とアラブの春			
	第9講	欧州の移民問題(1)	フランスの同時多発テロ事件とイスラム系移民問題			
	第10講	映像授業	欧州の移民問題に関する映像作品を鑑賞します			
	第11講	欧州の移民問題(2)	フランスの郊外暴動			
	第12講	現代のナショナリズム	EUとブレグジット問題			
	第13講	植民地主義の歴史	イギリスの三角貿易とフランスのアルジェリア支配を事例に			
	第14講	グローバリゼーション	国家 vs 企業 ～新たな植民地主義か？			
第15講	まとめと演習	これまでの復習演習				
指導方法	“スライドとプリントを使った講義 65 分+映像 25 分” が基本形式です。					
事前学習	事前にプリントをアップロードしますので、授業前に目を通しておいてください。（目安 60 分程度）					
事後学習	授業内容の理解度確認テストを毎回の課題とします。しっかり復習して課題を解いてください。（復習と解答合わせて 90 分程度）					
成績評価方法	本試験 60%、授業課題 40%					
テキスト	ありません。授業内でプリントを配布します。					
参考書籍	授業内で指示します。					
特記事項	本講義はキャリア科目として「ニュース時事能力検定」3 級以上の受験を推奨しています。					